

## 補正予算(案)概要説明書

当初予算編成後に生じた入学・卒業等の学籍異動に伴う学生生徒等納付金収入の変動等にかかる収入額の変更、及び、大正大学の将来構想を踏まえた新規事業予算の計上、さらに、事業内容の見直し等に伴う支出額の変更を盛り込んだ補正予算(案)の概要を説明します。

予算(案)は「資金収支予算書」及び「事業活動収支予算書」の2種類で説明します。

「資金収支予算書」は、今年度に発生するすべての収入と支出の予算額を、補正予算と当初予算を対比して記載し、平成 29 年度末の学校法人大正大学の資金状況を予測する計算書類です。

「事業活動収支予算書」は、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の3つの事業活動区分で収支状況を表した予算書であり、平成 29 年度の学校法人大正大学の収支状況を予測する計算書類です。

当初予算確定後に教育研究活動を支えるキャンパス整備事業、また、地域連携事業で、以下の4つの新規事業が計画されました。

### ① 巣鴨キャンパス整備事業

新8号館改築(5月26日開催の第304回理事会・第258回評議員会において計画承認)の関連事業です。

### ② 埼玉キャンパス整備事業

埼玉県松伏町の埼玉キャンパス事務・図書館棟老朽化に伴う解体工事です。

### ③ 南三陸エリアキャンパス整備事業

宮城県南三陸町の南三陸エリアキャンパス研修棟内の食堂狭隘化に伴う増築工事です。

### ④ 地域連携事業「新庄まつり in 巣鴨」実施

本学が取り組んでいる、「地方との共生」、「地域の活性化」を促進するために、地域実習でご縁を頂いた新庄市の「新庄まつり」を巣鴨で開催し、地域の観光情報の発信・文化の交流、巣鴨の活性化につながるイベントを開催しました。なお、このイベントは地域創生学部2年生が、東京での地域実習の総仕上げとして運営に参画しました。

以下、補正予算(案)の主な収入・支出内容について説明します。

### 1. 資金収入の概要

- 1) 学生生徒等納付金収入 51 億 3,417 万 3,000 円、当初予算比 1,600 万 3,000 円減額です。学生数確定を踏まえて減額しました。
- 2) 手数料収入 1 億 4,964 万円、当初予算比 143 万 9,000 円増額です。入学検定料収入が主な収入科目になります。AO 入試、推薦入試での志願者増を踏まえて入学検定料収入を 195 万円増額予測しました。
- 3) 寄付金収入 3 億 1,092 万円、当初予算比 4,055 万円減額です。上半期の寄付金納入状況を踏まえて減額しました。
- 4) 補助金収入 5 億 122 万 8,000 円、当初予算比 5,141 万 2,000 円減額です。経常費補助金の前期内示額を踏まえて減額しました。
- 5) 資産売却収入 9 億 630 万円は、時価の評価が高いこと、売却後の再運用商品が売却商品と同程度以上を確保できることを条件に売却を行いました。

- 6) 付随事業・収益事業収入 2,919 万 6,000 円、当初予算比 720 万 9,000 円増額です。受託事業研究の新規契約 4 件（558 万円）獲得したことが主な増額理由です。
- 7) 受取利息・配当金収入 1 億 513 万 4,000 円、当初予算比 80 万 7,000 円増額です。条件の良い運用商品に切り替えたことに伴う増額です。
- 8) 雑収入 6,170 万 6,000 円、当初予算比 794 万 9,000 円増額です。教職員退職者増により退職金財団交付金が 104 万 4,000 円増額、さらに、科学研究費補助金新規採択（文科省科研 10 件、厚労省科研 1 件）により間接経費が 735 万円増額です。

上記の他、前受金収入や前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は、110 億 453 万 256 円です。

## 2. 資金支出の概要

- 1) 人件費支出 31 億 3,798 万 2,875 円、当初予算比 1,177 万 9,960 円減額です。教員人件費、職員人件費ともに実績を踏まえて減額しました。  
一方、退職金は、退職者増（教員 5 名→6 名、職員 1 名→3 名）により 141 万 8,920 円の増額です。
- 2) 教育研究経費 16 億 6,569 万 9,922 円、当初予算比 1 億 1,251 万 1,250 円増額です。
  - 当初予算比で増額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。
  - ◎修繕費支出 1,535 万 8,838 円増額
    - ①ゲリラ雷雨被災に伴い体育棟及び学内防犯カメラ修繕が生じ 946 万円支出しました。
    - ②パソコン保守料を「教育機器備品費支出」から科目振替し 314 万円増額です。
  - ◎委託費支出 1 億 3,583 万 9,154 円増額
    - ①『地域人』製作の支出科目を「管理）委託費」から科目振替し 5,184 万円増額です。
    - ②「地域実習」及び「すがもプロジェクト」の精算方法変更に伴い「教）旅費交通費支出」「教）実験実習費支出」から科目振替し 1,760 万円増額です。
    - ③「新庄まつり in 巣鴨」実施経費 1,850 万円を支出しました。
  - 当初予算比で減額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。
  - ◎旅費交通費支出 869 万 3,793 円減額
    - ・「地域実習」の精算方法変更に伴い「教）委託費支出」に科目振替し 297 万円減額です。
  - ◎奨学費支出 1,275 万 7,500 円減額
    - ・「地域人材育成奨学金授業料減免」「私費外国人留学生授業料減免」「短期留学生授業料減免」「体育奨学生授業料減免」等人数確定に伴う減額です。
  - ◎学生諸費支出 954 万 6,384 円減額
    - ・南三陸エリアキャンパス宿泊・交通費補助の上半期利用状況を踏まえて 600 万減額しました。

◎賃借料支出 1,086 万 4,503 円減額

・教職員パソコンリースで、発注時の精査により 1,193 万円減額です。

3) 管理経費支出 5 億 7,321 万 920 円、当初予算比 465 万 4,038 円減額です。

●当初予算比で増額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。

◎雑費支出 2,473 万 1,701 円増額

・90 周年勧募関連で 2,609 万 9,200 円を支出しました。

●当初予算比で減額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。

◎委託費支出 3,635 万 2,821 円減額

・『地域人』制作の支出科目を「教）委託費支出」に科目振替し 5,184 万円減額です。

4) 施設関係支出 1 億 9,924 万 5,684 円、当初予算比 1 億 8,173 万 7,400 円増額です。

主な増額理由は以下の通りです。

①単鴨校舎キャンパス整備事業 1 億 1,000 万円

②埼玉校舎キャンパス整備事業 5,414 万円

③南三陸エリアキャンパス整備事業 659 万円

④図書館貴重書庫空調更改 426 万円

上記の他、設備関係支出や資産運用支出等を加えた結果、翌年度繰越支払資金は 22 億 8,972 万 9,591 円です。

### 3. 事業活動収支の概要

事業活動収支は、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の 3 つの区分で平成 29 年度の収支予測を表します。

#### 【教育活動収支】

教育活動収支は、学校法人の本業である教育研究事業の収支の集計です。「学生生徒等納付金」等の収入と、「人件費支出」「教育研究経費支出」「管理経費支出」の収支状況を把握するものです。教育活動収支差額は 1 億 772 万 5,696 円の収入超過予測です。

#### 【教育活動外収支】

教育活動外収支は、資産運用や借入利息などの財務活動に係る収支の集計です。平成 26 年度以降実施している資産運用商品の見直しによる受取利息・配当金の増加で、教育活動外収支差額は 9,643 万 9,592 円の収入超過予測です。

#### 【特別収支】

特別収支は、特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な収支の集計です。主に、施設設備の寄付金・補助金と資産処分にかかる収支状況を表します。今年度は、埼玉キャンパス事務・図書館棟解体に伴い時価評価額 2,500 万円を資産処分差額として計上したため支出超過予測です。

#### 【基本金組入前当年度収支差額】

旧会計基準の「帰属収支差額」に該当し、本学の単年度の収支状況を表します。今年度は 1 億 2,916 万 5,288 円の収入超過予測です。

### 【基本金組入額合計】

施設や設備の資産となる金額を基本金として計上します。今年度は、巣鴨キャンパス整備事業等が対象となり3億8,069万1,166円の予測です。

### 【当年度収支差額】

平成29年度の実質の収支状況を表します。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた額により算出します。

今年度は2億5,152万5,878円の支出超過予測です。

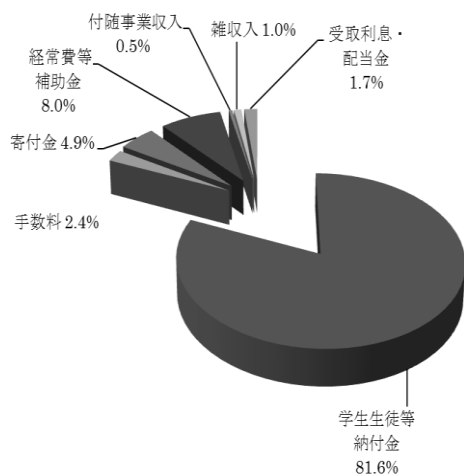
### 【内部留保】

減価償却額及び資産処分差額は資金の移動を伴わない支出のため内部留保分とします。今年度は、減価償却額6億8,300万円、資産処分差額2,500万円の合計7億800万円とし、これに基づいて将来のキャンパス整備に備えて積立を行います。

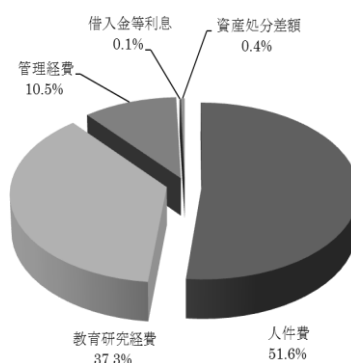
### 【収支構成図】

事業活動収支計算書に基づいて、収支構成のグラフを記載します。

収入の部



支出の部



以上